



山口県内の経済情勢

令和 2 年 1 0 月

財務省中国財務局
山口財務事務所

(令和 2 年 10 月 28 日公表)

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 山本
TEL (083) 922-2190(代)
FAX (083) 925-1325
HP 掲載先 :
[http://chugoku.mof.go.jp/
yamaguchi/index.htm](http://chugoku.mof.go.jp/yamaguchi/index.htm)




山口財務事務所の
ホームページ

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」









項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	

（注）2年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる	
設備投資	2年度は前年度を上回る見込み	2年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大	「上昇」超に転じる	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を下回る	前年を下回る	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

コンビニエンスストア販売で、新型コロナウイルス感染症の影響により、カウンターフードなどが低調であることから、前年を下回っている。また、乗用車販売で、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも低調なことから、前年を下回っている。その一方で、ドラッグストア販売で飲食料品などが、家電大型専門店販売でテレビなどが、ホームセンター販売で工具・資材などが、百貨店・スーパー販売で飲食料品などが堅調なことから、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、花火大会やスポーツ大会などのイベントが中止になり、客足が減少したことから、カウンターフードなどを中心に低調であった。(コンビニエンスストア)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、土日に実施していたイベントが再開出来ていないものの、メーカーの工場の稼働再開に伴い、滞っていた商品の入荷も徐々に回復してきていることから、売上も少しずつ戻ってきている。(自動車販売店)
- 新型コロナウイルス感染症の対策商品が引き続き堅調であるほか、ついで買いとして生鮮食品や冷凍食品などの売上が伸びている。(ドラッグストア)
- 特別定額給付金の効果もあって、大画面の有機ELテレビなどの高額な商品の売上が堅調であった。(家電大型専門店)
- 自宅で過ごす時間が増えていることから、引き続きDIY関連商品などが堅調である。また、8月は猛暑であったことから携帯扇風機などの季節商品が売れた。(ホームセンター)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、宅配や移動販売による売上が伸びているほか、肉食需要の増加から青果などの飲食料品の売上が伸びている。(スーパー)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

化学は、インフラ向け樹脂原料などの需要が堅調であることから、定期修理による設備制約を除いて高めの操業を維持している。窯業・土石は、セメントで、新型コロナウイルスの影響がみられるものの、都市部における再開発向けの需要があることから、おおむね横ばいとなっている。鉄鋼は、自動車向けの需要回復のペースが鈍いものの、電機向けの需要が堅調であることから、おおむね横ばいとなっている。輸送機械は、自動車で、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、海外向けの需要が回復してきていることから、持ち直しの動きがみられる。このように、生産活動は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

- 海外向けを中心にインフラ向け樹脂原料などの需要が堅調であり、おおむねフル生産となっている。(化学)
- 新型コロナウイルス感染症の影響による建設工事の取りやめが引き続き生じているものの、影響は薄れてきており、都市部での再開発向けを中心に需要が回復傾向にあるため、足下ではおおむねフル生産となっている。(窯業・土石)
- 自動車工場の稼働率上昇を背景に需要が回復してきており、在庫の調整も終えたことから、足下では生産が戻りつつある。(鉄鋼)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により欧州などの需要が引き続き弱いものの、北米などの需要が回復していることから、7月で生産調整を終え、8月以降は通常の操業体制に戻っている。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる」

有効求人倍率は、有効求人数が減少し、有効求職者数が増加していることから低下している。また、新規求人倍率は、新規求職者数が増加していることから低下している。このように、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により休業していたが、通常営業再開後も客足が感染拡大前までの水準に戻っておらず人手が過剰気味となっている。(生活関連サービス)
- 新型コロナウイルス感染症の影響による受注減少により、一部製品の生産ラインで人手が過剰気味となっている。(鉄鋼)

■ 設備投資 「2年度は前年度を上回る見込み」

- 製造業では、業務用機械などで減少するものの、石油・石炭、化学などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、鉱業・採石等、金融・保険などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 老朽化した設備の更新に加え、省エネ化のための合理化投資を行う。(石油・石炭)
- 維持更新のほか、需要増加を見込む製品の生産能力増強を行っている。(化学)
- 店舗の統合に伴う建物の新設を行っている。(金融・保険)

■ 企業収益 「2年度は減益見込み」

- 製造業では、金属製品などで増益となるものの、化学、窯業・土石などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、学術研究・専門・技術サービス、建設などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じる」

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、持家、分譲住宅などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回る」

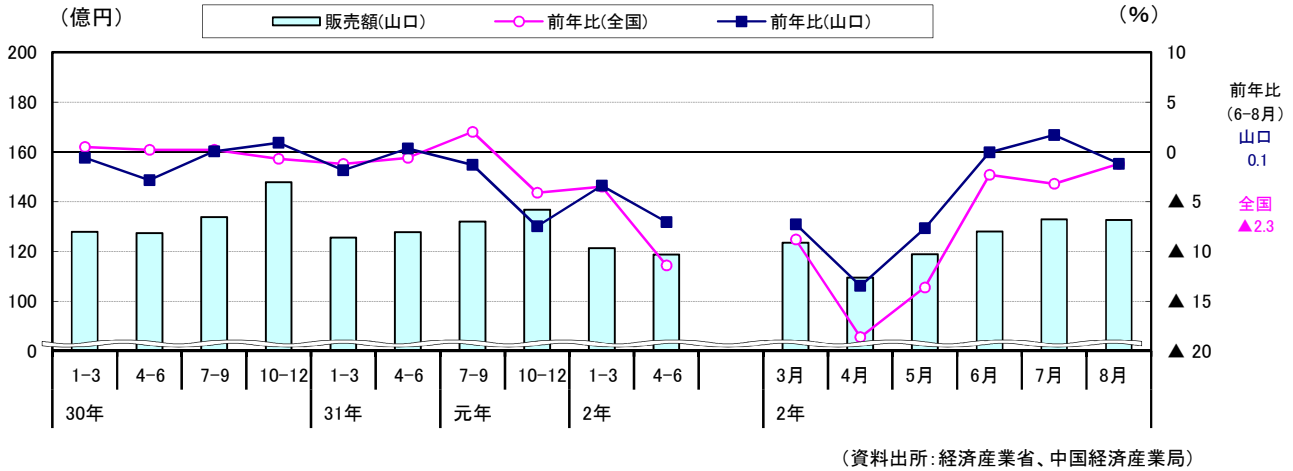
- 県内通関実績（円ベース）で見ると、輸出は、自動車、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、西欧、アジアなどで減少している。
なお、輸入は、原油及び粗油、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東、アジアなどで減少している。

資料編

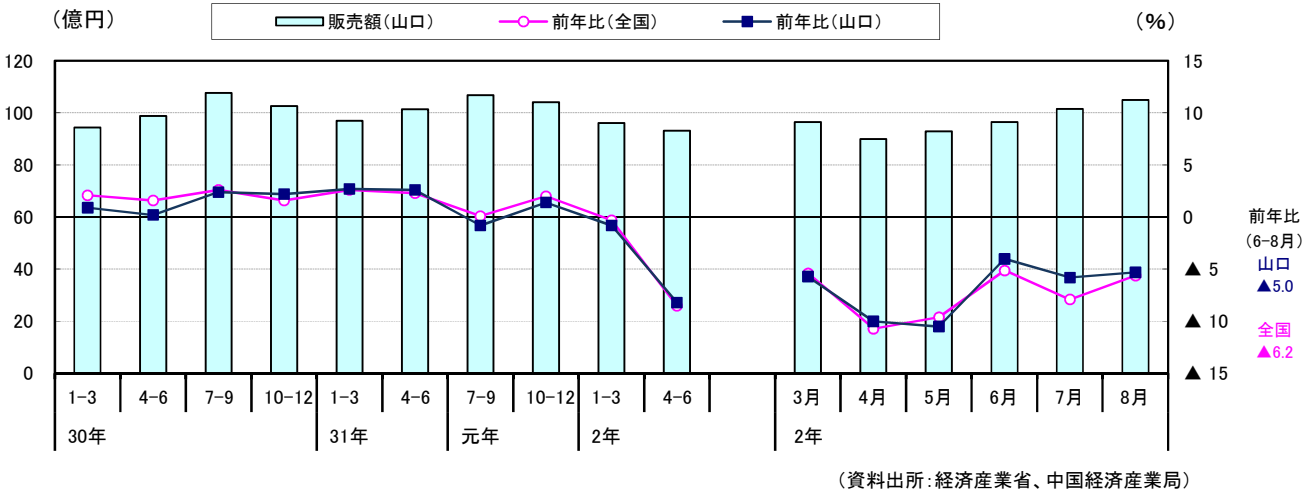
目次	ページ
1. 個人消費	5～6
2. 生産活動	7
3. 雇用情勢	8
4. 設備投資	9
5. 企業収益	10
6. 企業の景況感	10
7. 住宅建設	10
8. 輸 出	11

1. 個人消費…新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 緩やかに持ち直している

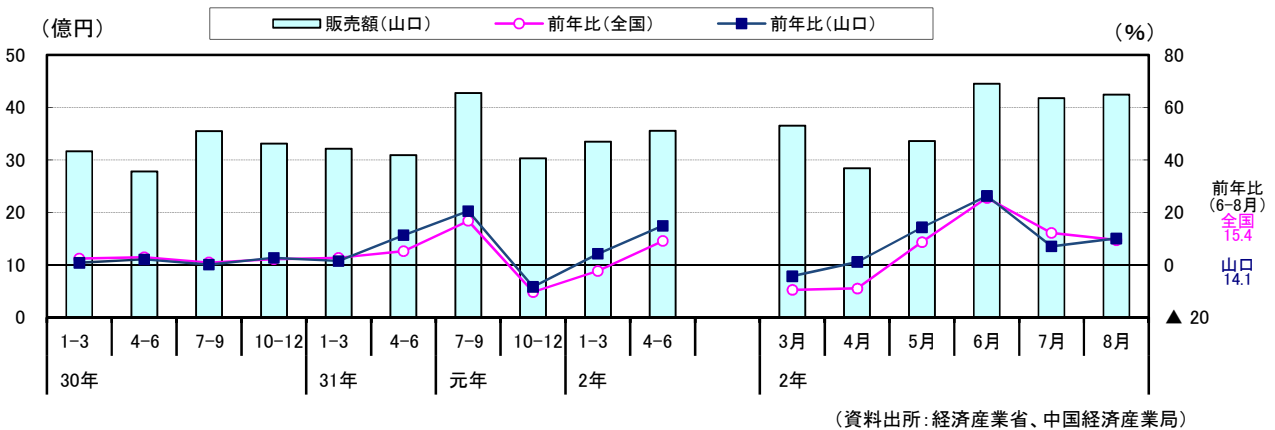
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗:販売額及び前年比)



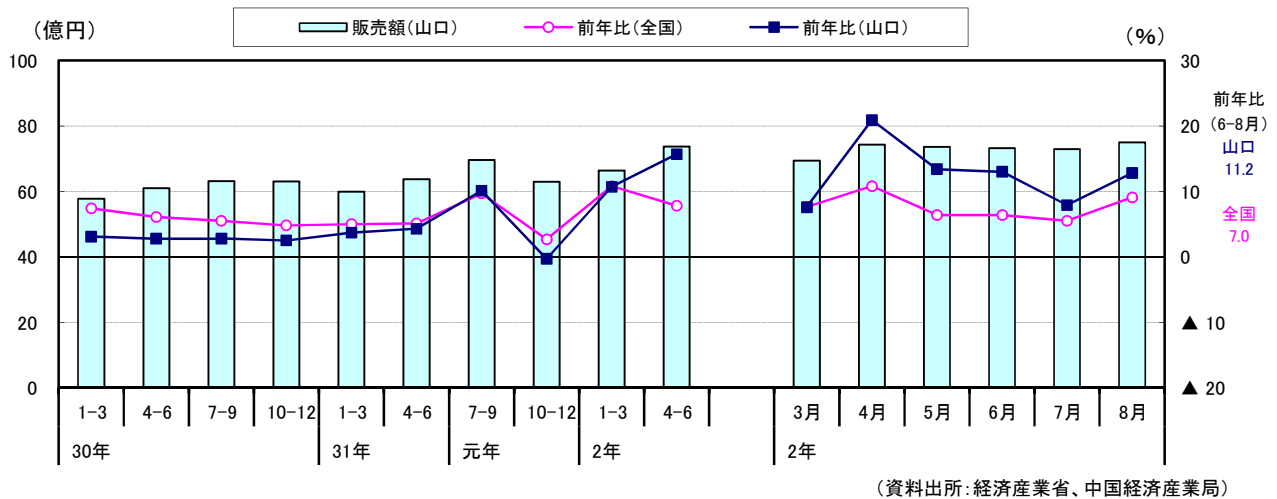
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗:販売額及び前年比)



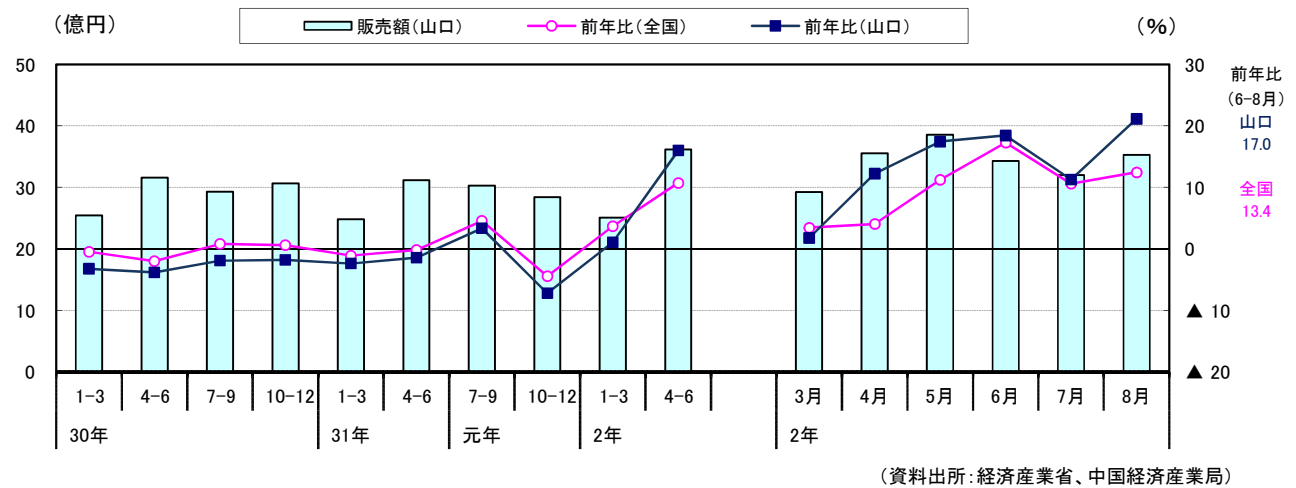
(3) 家電大型専門店販売額(全店舗:販売額及び前年比)



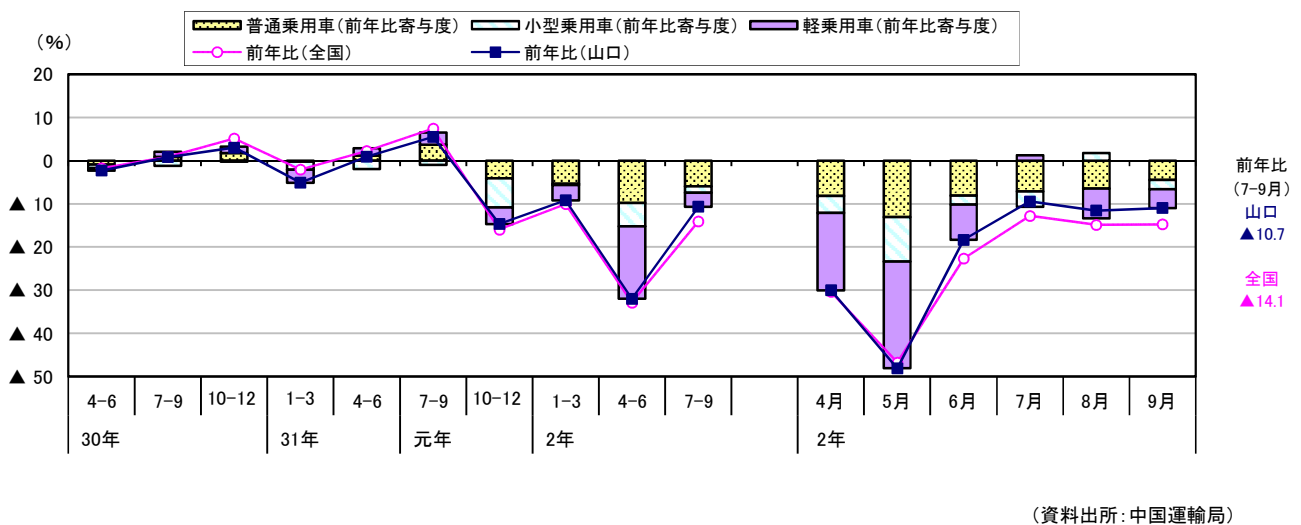
(4) ドラッグストア販売額(全店舗:販売額及び前年比)



(5) ホームセンター販売額(全店舗:販売額及び前年比)



(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数:前年比及び車種別寄与度)

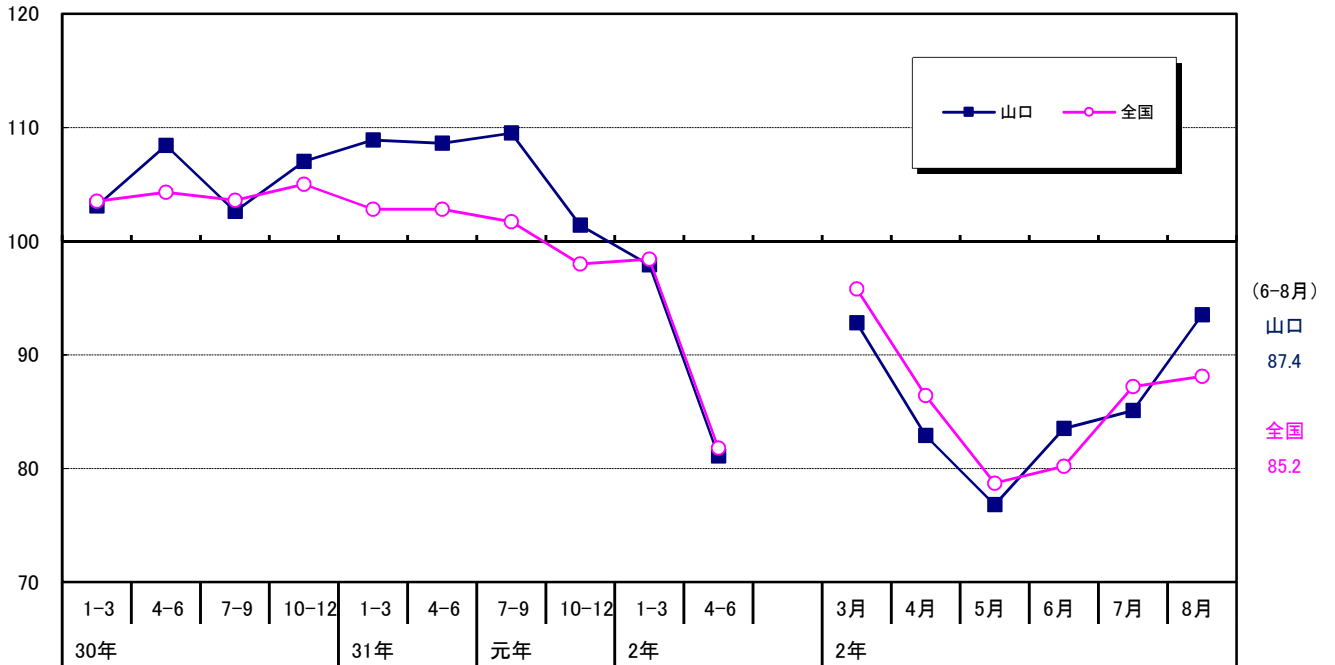


(グラフの見方) (1)から(5)の各グラフの四半期毎の販売額は、1月あたりの平均を表示。

2. 生産活動 … 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる

(1) 鉱工業生産指数(季節調整済)

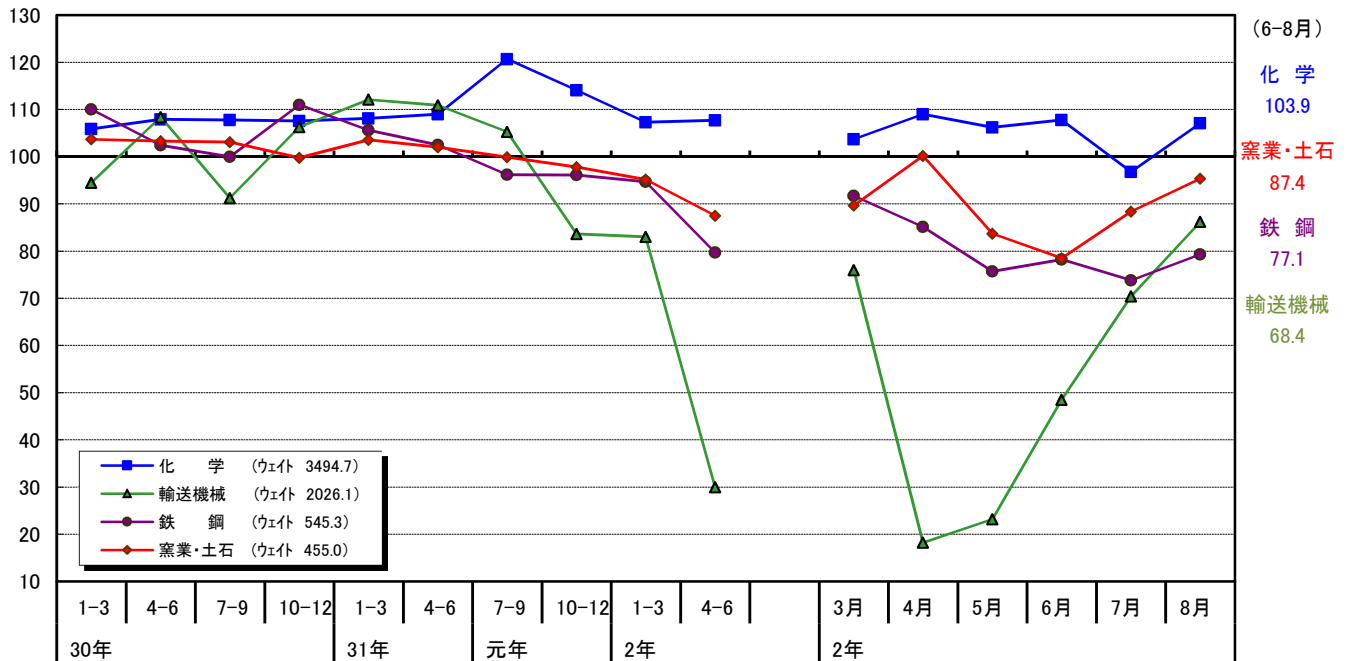
(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、山口県統計分析課)

(2) 山口県 主要業種別 鉱工業生産指数(季節調整済)

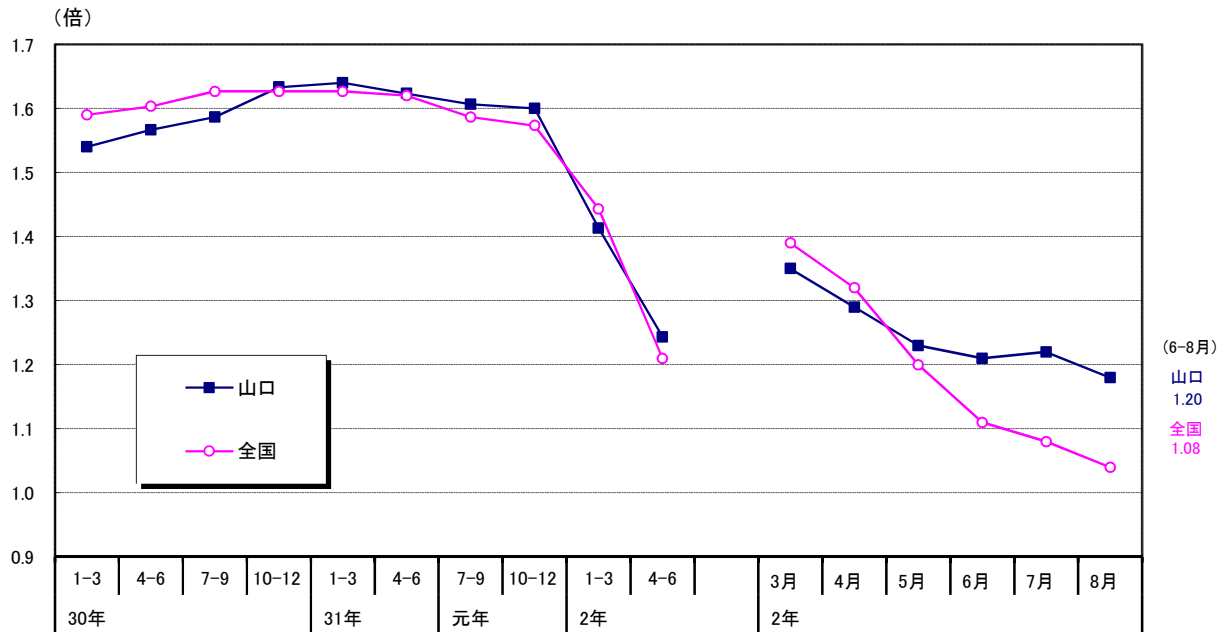
(平成27年=100)



(資料出所: 山口県統計分析課)

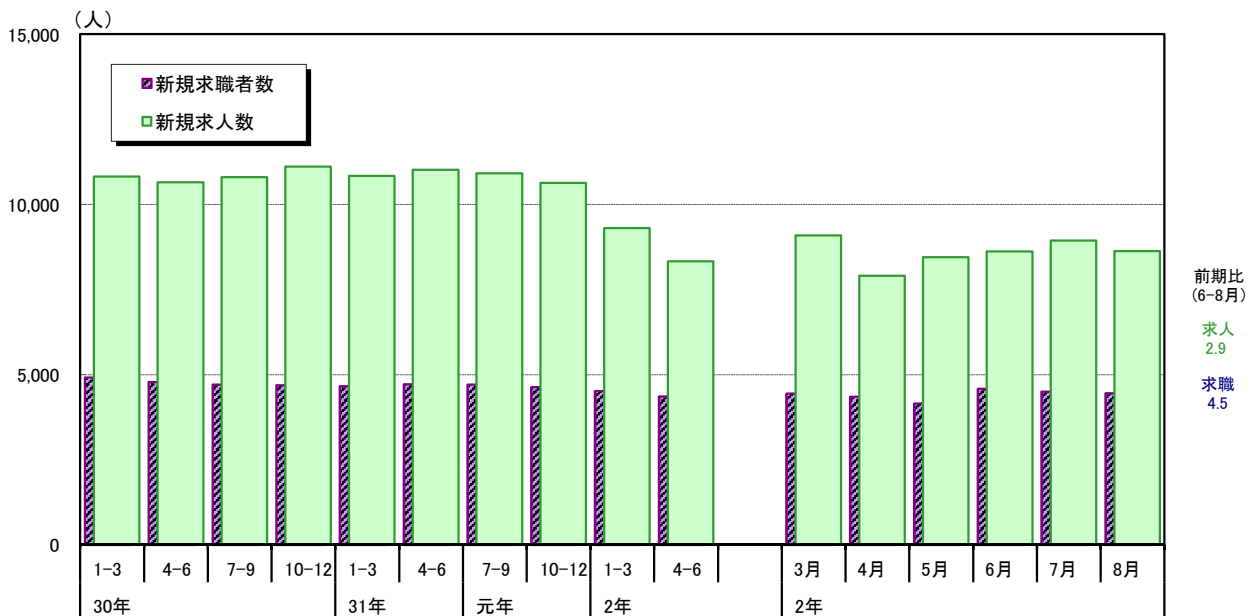
3. 雇用情勢 …新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる

(1) 有効求人倍率(学卒除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

(2) 新規求職者数・新規求人数(学卒除く、季節調整値)

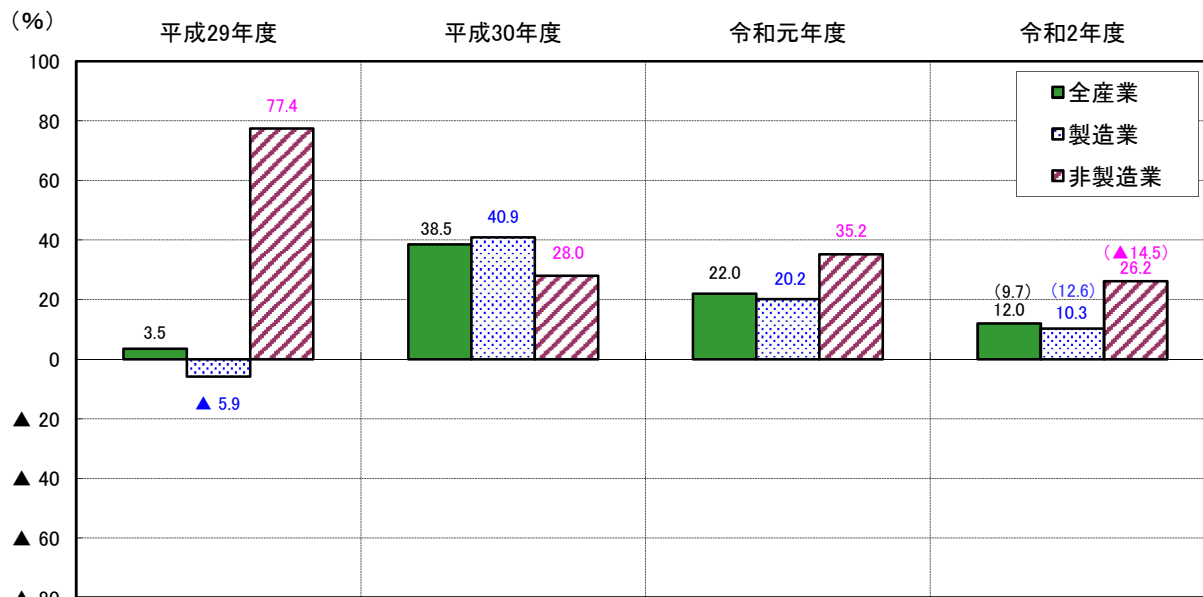


(注) 1. 四半期の新規求職者数及び新規求人数は月平均
2. 前期比は3-5月期対比

(資料出所:山口労働局)

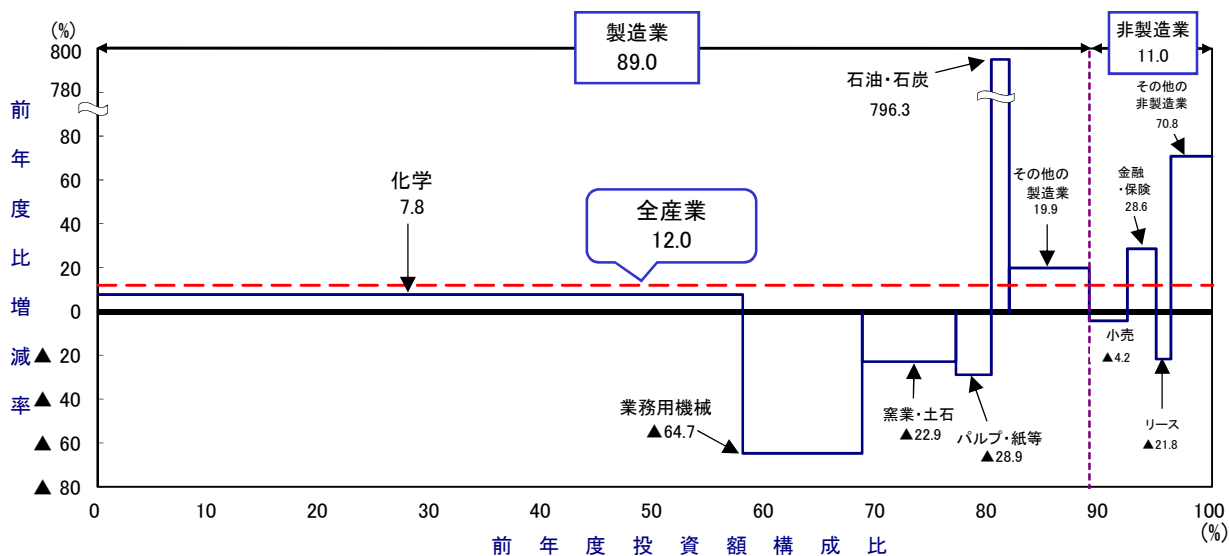
4. 設備投資 … 2年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資(前年度比)



- ・ ()は前回〔令和2年4月から6月期〕調査結果
- ・ 平成29、30、令和元年度は参考値(標本の抽出替えを毎年実施)
- ・ 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む

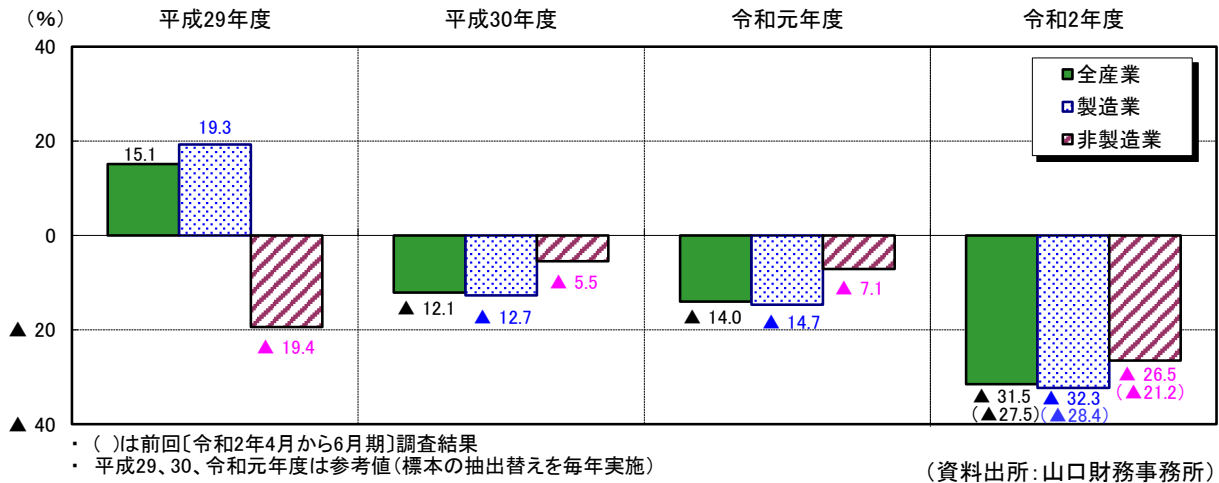
(2) 主要業種別 設備投資状況(2年度)



(資料出所: 山口財務事務所)

5. 企業収益 … 2年度は減益見込み

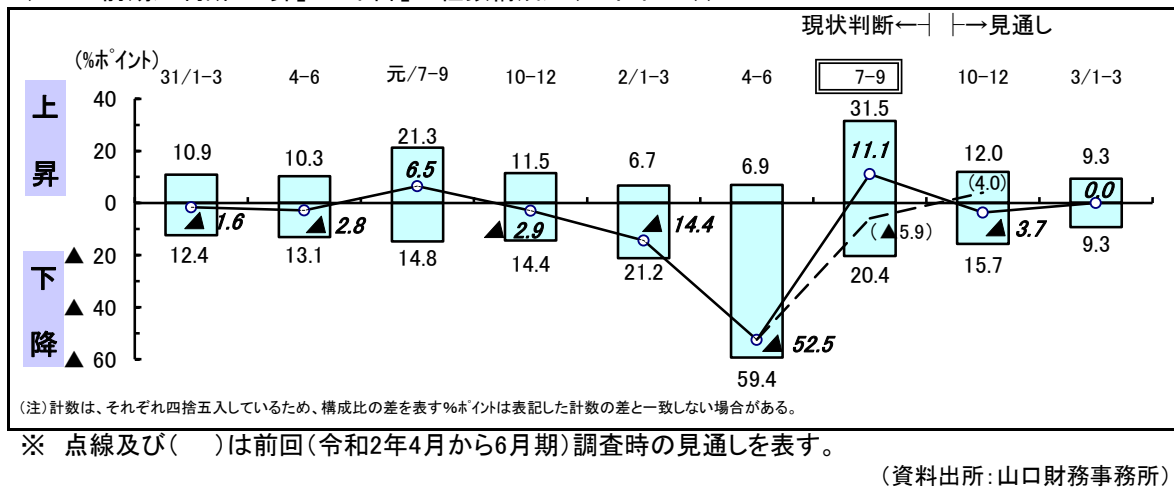
経常利益(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く、前年度比)



6. 企業の景況感 … 「上昇」超に転じる

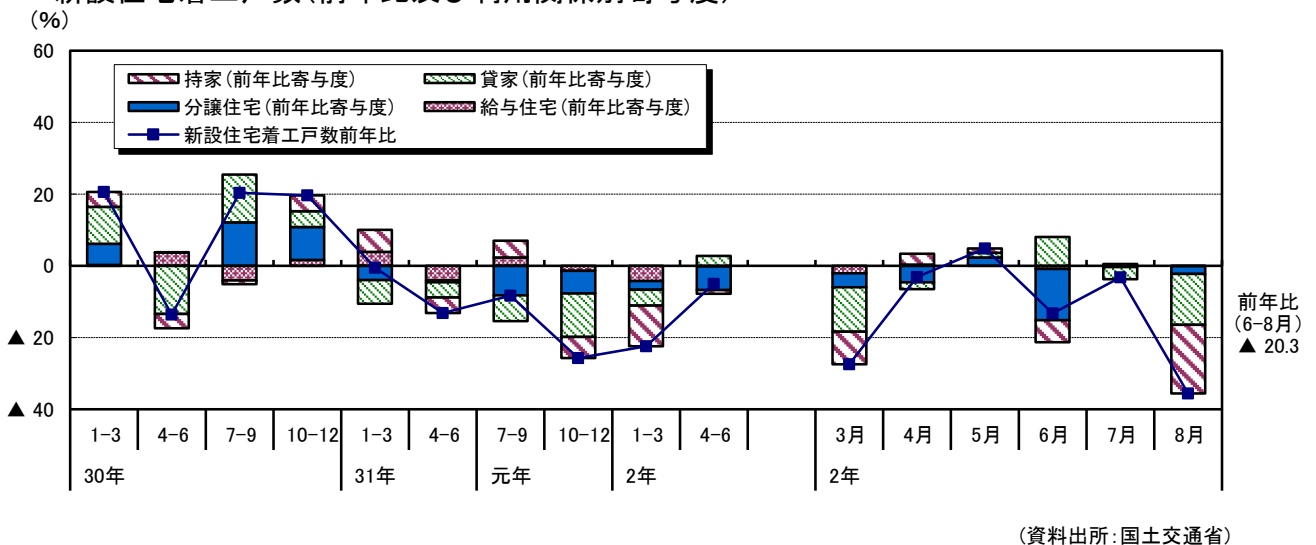
景況判断BSIの推移

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」の社数構成比(%ポイント))



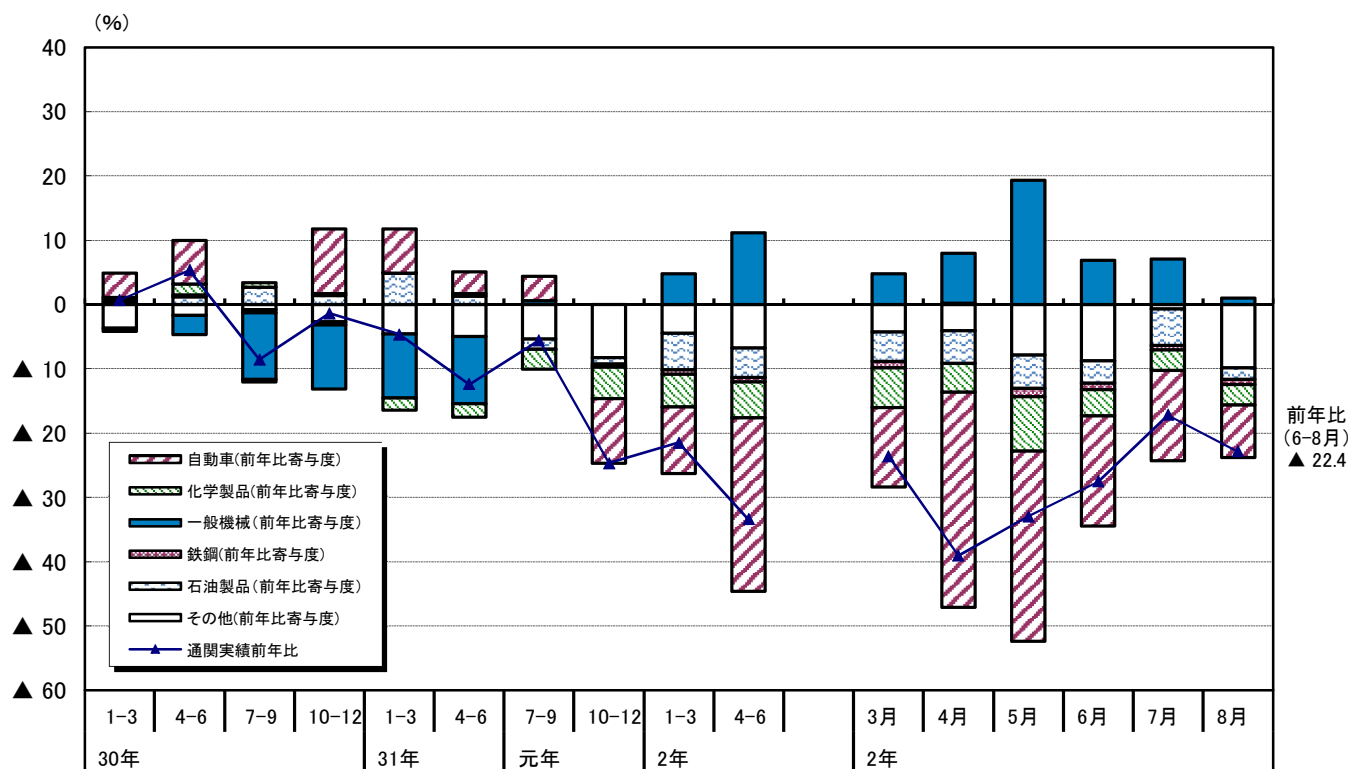
7. 住宅建設 … 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比及び利用関係別寄与度)



8. 輸出 … 前年を下回る

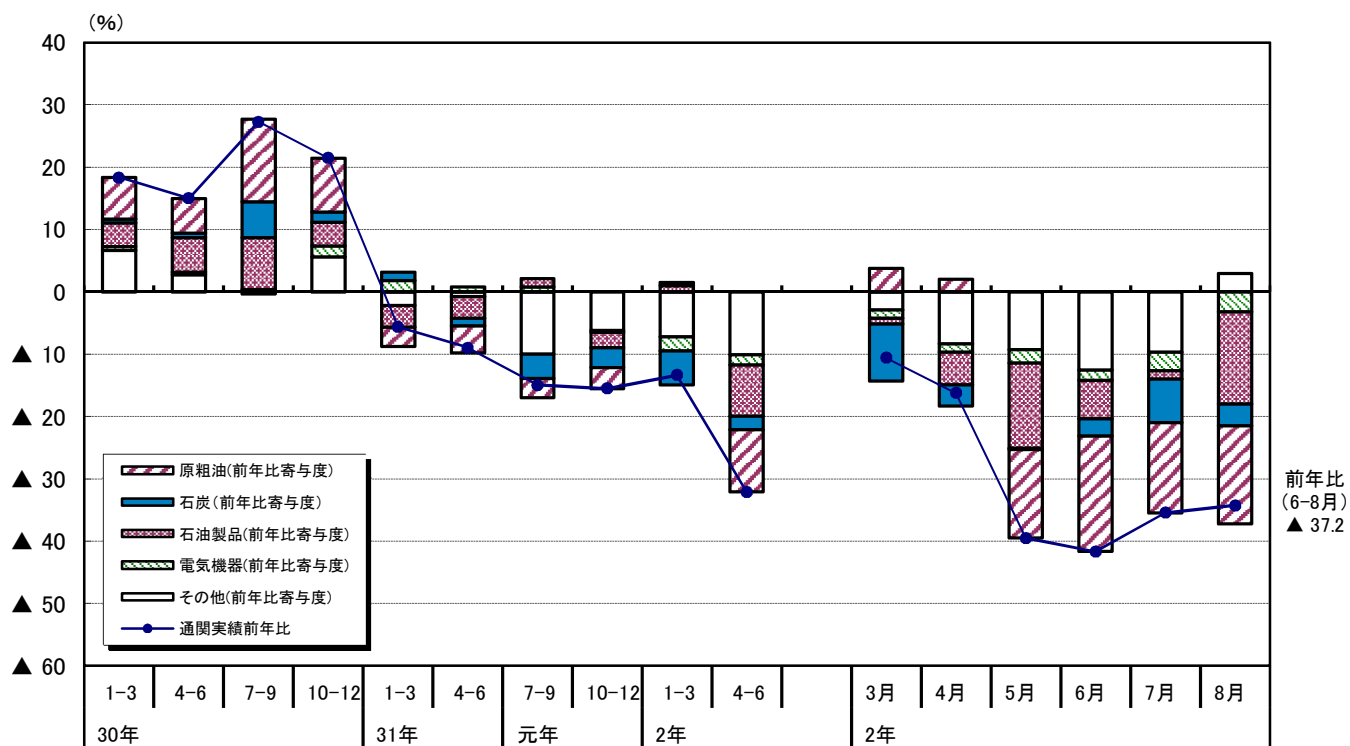
輸出(円ベース・前年比及び品目別寄与度)



(資料出所:神戸税関、門司税関)

<参考>

輸入(円ベース・前年比及び品目別寄与度)



(資料出所:神戸税関、門司税関)